

## 基地史最大規模の重大事故即応演習を完了 *Yokota, partners complete largest MARE in base history*

May 13, 2022

By Tech. Sgt. Joshua Edwards  
374th Airlift Wing Public Affairs

一週間を通し、第374空輸航空団の各部隊が目標を絞り、さまざまな分野において多技能な空兵を演練するなか、5月11日、全部隊が重大事故即応演習(MARE)に結集した。

今回のMAREでは、横田基地史最大規模で行われ、F-16ファイティング・ファルコンの墜落を想定し、横田基地とパートナー部隊が連携して対処する能力を試した。

第374空輸航空団飛行安全主任クリストファー・ウルフ少佐は、「このシミュレーションは最悪のシナリオを演練するためのもの」と述べ、「飛行はとても安全であり、軍は徹底して練習を重ね確かな飛行技術を持っている。しかし、それでも事故が起こることがある。人命を守り、物的損害を最小限に留めるために、可能な限り迅速かつ効率的に対応できるよう備える必要がある」と述べた。

横田で最大規模のMAREを実施するにあたり、今回は米海軍厚木航空施設、米海軍横須賀基地、三沢基地、東京消防庁福生消防署の協力も得た。

第374空輸航空団安全部長スコット・ヘンドリックス中佐は、「今回のMAREは、万が一の事故に機動的に対応するための合同統合(を演習すること)が目的である」「今日のMAREに対応するチームに期待することは、実際のシナリオ同様に行うことだ。全てのチェックリストを実行し、あらゆる連携を確立し、こうした必要な状況下での連絡を取り、事故に対応する基地のすべての機能分野が計画通りに対処していることを確認することだ」と述べた。

横田とパートナー部隊は、消火活動、医療処置、航空機の復旧を行い、一連の必要な行動を演練し、演習での対応を成功させた。

